

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 11 月 30 日 (2006.11.30)

【公開番号】特開 2005-173964 (P2005-173964A)

【公開日】平成 17 年 6 月 30 日 (2005.6.30)

【年通号数】公開・登録公報 2005-025

【出願番号】特願 2003-413011 (P2003-413011)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/048 (2006.01)

H 0 4 M 1/247 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/00 6 5 7 A

H 0 4 M 1/247

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 10 月 12 日 (2006.10.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

実行する機能を指定する機能指定手段と、

前記機能指定手段により指定された機能に替わって他の機能が実行された時に、直前に実行されていた機能の起動を指示するショートカットアイコンを画面登録する登録手段と、
前記登録手段により画面登録されたショートカットアイコンがユーザ操作された場合に、
当該ショートカットアイコンに割当てられた機能の起動を指示する起動指示手段と
を具備することを特徴とする機能呼出し装置。

【請求項 2】

実行する機能を指定する機能指定手段と、

前記機能指定手段により指定された機能に替わって他の機能が実行された時に、直前に実行されていた機能の起動を指示するショートカットアイコンを、表示画面上に設けられるアイコン配列表示域の先頭位置に画面登録する登録手段と、
前記登録手段により画面登録されたショートカットアイコンがユーザ操作された場合に、
当該ショートカットアイコンに割当てられた機能の起動を指示する起動指示手段と
を具備することを特徴とする機能呼出し装置。

【請求項 3】

実行する機能を指定する機能指定手段と、

前記機能指定手段により指定された機能に替わって他の機能が実行された時に、直前に実行されていた機能の起動を指示するショートカットアイコンを、表示画面上に設けられるアイコン配列表示域の先頭位置に画面登録する登録手段と、
前記登録手段が表示画面上に設けられるアイコン配列表示域の先頭位置に新たなショートカットアイコンを画面登録する毎に、それ以前に前記アイコン配列表示域に画面登録されたショートカットアイコンの表示位置の並びを 1 つずつずらして表示する表示制御手段と

、
前記登録手段により画面登録されたショートカットアイコンがユーザ操作された場合に、
当該ショートカットアイコンに割当てられた機能の起動を指示する起動指示手段と
を具備することを特徴とする機能呼出し装置。

【請求項 4】

実行する機能を指定する機能指定手段と、

前記機能指定手段により指定された機能が実行される時に、その機能の起動を指示するショートカットアイコンを画面登録する登録手段と、

前記機能指定手段により指定された機能に替わって他の機能が実行された後で、前記登録手段により画面登録されたショートカットアイコンがユーザ操作された場合に、当該ショートカットアイコンに割当てられた機能の起動を指示する起動指示手段と

を具備することを特徴とする機能呼出し装置。

【請求項 5】

実行する機能を指定する機能指定処理と、

前記機能指定処理にて指定された機能に替わって他の機能が実行された時に、直前に実行されていた機能の起動を指示するショートカットアイコンを画面登録する登録処理と、

前記登録処理にて画面登録されたショートカットアイコンがユーザ操作された場合に、当該ショートカットアイコンに割当てられた機能の起動を指示する起動指示処理と

をコンピュータで実行させることを特徴とする機能呼出し処理プログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

上記目的を達成するため、請求項 1 に記載の発明では、実行する機能を指定する機能指定手段と、前記機能指定手段により指定された機能に替わって他の機能が実行された時に、直前に実行されていた機能の起動を指示するショートカットアイコンを画面登録する登録手段と、前記登録手段により画面登録されたショートカットアイコンがユーザ操作された場合に、当該ショートカットアイコンに割当てられた機能の起動を指示する起動指示手段とを具備することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

請求項 2 に記載の発明では、実行する機能を指定する機能指定手段と、前記機能指定手段により指定された機能に替わって他の機能が実行された時に、直前に実行されていた機能の起動を指示するショートカットアイコンを、表示画面上に設けられるアイコン配列表示域の先頭位置に画面登録する登録手段と、前記登録手段により画面登録されたショートカットアイコンがユーザ操作された場合に、当該ショートカットアイコンに割当てられた機能の起動を指示する起動指示手段とを具備することを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項 3 に記載の発明では、実行する機能を指定する機能指定手段と、前記機能指定手段により指定された機能に替わって他の機能が実行された時に、直前に実行されていた機能の起動を指示するショートカットアイコンを、表示画面上に設けられるアイコン配列表示域の先頭位置に画面登録する登録手段と、前記登録手段が表示画面上に設けられるアイコン配列表示域の先頭位置に新たなショートカットアイコンを画面登録する毎に、それ以前

に前記アイコン配列表示域に画面登録されたショートカットアイコンの表示位置の並びを１つずつずらして表示する表示制御手段と、前記登録手段により画面登録されたショートカットアイコンがユーザ操作された場合に、当該ショートカットアイコンに割当てられた機能の起動を指示する起動指示手段とを具備することを特徴とする。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

請求項４に記載の発明では、実行する機能を指定する機能指定手段と、前記機能指定手段により指定された機能が実行される時に、その機能の起動を指示するショートカットアイコンを画面登録する登録手段と、前記機能指定手段により指定された機能に替わって他の機能が実行された後で、前記登録手段により画面登録されたショートカットアイコンがユーザ操作された場合に、当該ショートカットアイコンに割当てられた機能の起動を指示する起動指示手段とを具備することを特徴とする。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

請求項５に記載の発明では、実行する機能を指定する機能指定処理と、前記機能指定処理にて指定された機能に替わって他の機能が実行された時に、直前に実行されていた機能の起動を指示するショートカットアイコンを画面登録する登録処理と、前記登録処理にて画面登録されたショートカットアイコンがユーザ操作された場合に、当該ショートカットアイコンに割当てられた機能の起動を指示する起動指示処理とをコンピュータで実行させることを特徴とする。

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正９】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正１０】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１３】

請求項１，５に記載の発明によれば、指定された機能に替わって他の機能が実行された時

に、直前に実行されていた機能の起動を指示するショートカットアイコンを画面登録し、画面登録されたショートカットアイコンがユーザ操作されると、このショートカットアイコンに割当てられた機能の起動を指示する為、例えば操作キーの押し間違いでユーザの意図に反して他の機能と呼出してしまった場合でも、その直前に使った機能を簡単かつ即座に呼出すことができる。

【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 4】

請求項 2 に記載の発明によれば、指定された機能に替わって他の機能が実行された時に、直前に実行されていた機能の起動を指示するショートカットアイコンを、表示画面上に設けられるアイコン配列表示域の先頭位置に画面登録し、画面登録されたショートカットアイコンがユーザ操作されると、このショートカットアイコンに割当てられた機能の起動を指示するので、直前に使った機能が一目瞭然になり、しかも直前に使った機能を簡単に呼出すことができる。

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 5】

請求項 3 に記載の発明によれば、指定された機能に替わって他の機能が実行された時に、直前に実行されていた機能の起動を指示するショートカットアイコンを、表示画面上に設けられるアイコン配列表示域の先頭位置に画面登録すると同時に、それ以前に前記アイコン配列表示域に画面登録されたショートカットアイコンの表示位置の並びを 1 つずつずらして表示する為、画面に表示されるショートカットアイコンが機能実行順に並んで機能実行履歴を表現でき、しかも、そうして画面登録されたショートカットアイコンがユーザ操作されると、そのショートカットアイコンに割当てられた機能の起動を指示するので、直前に使った機能を簡単に呼出すことができる。

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 6】

請求項 4 に記載の発明によれば、指定された機能が実行される時に、その機能の起動を指示するショートカットアイコンを画面登録し、指定された機能に替わって他の機能が実行された後で、画面登録されたショートカットアイコンがユーザ操作されると、そのショートカットアイコンに割当てられた機能の起動を指示するので、直前に使った機能を簡単かつ即座に呼出すことができる。